

# 晋山式挙行に当たって

しんざん

## 晋山実行委員長 大島 茂

菩提寺法蔵寺の晋山式が、天候に恵まれた十一月八日に行われました。

境内、堂内外に雅楽の音楽が流れる中、お練(ね)り行列を迎え、開門式、入山。次いで本堂にて堂内式が行われ、喜びの中、つつがなく当山二十九世となる量譽真宏上人(りょうよしんこうしようにん)をお迎えすることが出来ました。



開門式

総代様が赤門を開門。  
新住職が入山しました。

これもひとえに物心両面でご支援頂きました。檀家皆様のご助力の賜物と衷心より感謝申し上げます。

本来であれば、法蔵寺の更なる発展の契機となる慶事でありますので、当日は皆様方をご招待し、感謝の意を表すべきところでございましたが、当山もコロナ防止のため、やむなく一門と関係者のみで執り行われていただきました。



堂内式

厳かに行われました。



お練り行列の様子

新住職は、式典のあいさつの中で「前任職は、ハード面(寺院、建造物の復元や整備のこと)への活動に力を入れてくださいましたので、私はソフト面の活動に力点をおきたい」と決意表明をしておられました。

新住職は、すでに紫衣(しえ)の位にある高僧でございます。

これから新住職のもと、多くの方々が菩提寺の年中行事に参加されたり、心よりどころとして参詣に來られたりしますことをご祈

念してやみません。  
以上申し上げ、御礼とご報告に替えさせていただきます。  
合掌

令和二年十二月吉日



晋山実行委員のみなさん

晋山祝協力金のご協力ありがとうございました。  
晋山式にかかる諸費用を上回るお祝いが集まりました。過分の祝い金は、今後の諸儀式のためにとり置きさせていただきます。  
ありがとうございました。